ファッション文化専門学校DOREME　実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科名	アーツ＆クラフト学科
コース名	レザーワーク専攻

	1年次		2年次		実務経験者科目時間
授業科目	単位時間数	実務経験教員	単位時間数	実務経験教員	
オープン実習	120	○	120	○	240
マーチャンダイジング	40	○			40
AC概論	20	○			20
ACゼミナール	60	○	160	○	220
彫金	120	○	160	○	280
ワックスワーク	80	○	80	○	160
クラフトデザイン	20	○	40	○	60
レザーワーク	80	○	80	○	160
マテリアルワーク	80		80		
メイキングレザー	80				
メイキング			80		
F.コーディネーション	40	○			40
デザイン画	40	○	40	○	80
造形デザイン	40				
色彩学	40	○			40
ACワーク			40	○	40
ACワーク(選択)			240	○	240
卒業制作			40	○	40
計	860		1160		1660

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	1
コース名	レザーワーク	単　位	12
科目名	オープン実習	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	各学科担当者、講師	(必修)　選択	

授業の到達目標及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習 ㈱アングローバル　プレス、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、㈱ユニクロ、㈱三越伊勢丹ホールディングス　人事部、㈱AZOTH代表、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Mannuscritデザイナー、

授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年)　校内企業説明会　コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座（毛皮）(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年)　卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ＆クラフト学科)
		10月	
	後期	11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座（２・３年）
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況　９０％　　課題(レポート等) 提出状況　１０％

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	1
コース名	レザーワーク	単　位	4
科目名	マーチャンダイジング	授業期間	(前期)　後期　通年
担当教員名	菅野　敦子	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	アパレル産業の業界知識、トレンドや店舗情報、仕入、商品構成などの 視点から、ショップ、ブランドの在り方を探る
授業の概要	アパレルの川上～川下の流れを掴み、各業態の実状を学ぶ 銀座三愛(現㈱Ai)にて商品企画、マーチャンダイザーを担当。以後当校にて教員を務め、現在校長として各授業を担当する。

授業計画	前期	4月	ファッション業界の仕組み
		5月	ファッションマーケティング知識
		6月	ショップリサーチ グループごとにテーマを決めてマップ制作
		7月	プレゼンテーション 夏季課題(東コレ研究)
		8月	
		9月	企業実習(オリジナルTシャツ作り)
		10月	
	後期	11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25％　課題25％　授業態度25％　実技25％

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	1
コース名	レザーワーク	単　位	2
科目名	AC概論	授業期間	(前期)　後期　通年
担当教員名	菅野　敦子	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	デザインコンセプトを生み出せることを目標とする
授業の概要	近代の美術様式から、アールデコ、アールヌーボーの建築、工芸、文様、家具、洋服、ジュエリーなどの特徴を把握し、時代性と作家、作品などの研究を行う。 銀座三愛(元㈱Ai)にて雑貨の商品企画、マーチャンダイザーを担当。以後当校にて教員を務め、現在校長として各授業を担当する。

授業計画	前期	4月	アントニ・ガウディ、ルネ・ラリック デザインの発想
		5月	フリーマーケットに向けての商品企画、制作
		6月	デザイン画トレーニング
		7月	ジュエリー画トレース指導
		8月	
		9月	
		10月	
	後期	11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%　課題50%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	1

コース名	レザーワーク	単　位	4
科目名	ACゼミナール	授業期間	前期　(後期)　通年
担当教員名	菅野　敦子	(必修)　選択	

授業の到達目標及びテーマ	自己表現からの売れる商品への付加価値の創出
授業の概要	企画トレーニングと自己理解の追求 銀座三愛(元㈱Ai)にて雑貨の商品企画、マーチャンダイザーを担当。以後当校にて教員を務め、現在校長として各授業を担当する。

授業計画			
	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
		10月	オリジナルTシャツ商品企画 イメージマップ制作
	後期	11月	Tシャツデザイン テーマ、コンセプトからのデザイン発想
		12月	プレゼンテーションボード制作 プレゼンテーション実践
		1月	自己分析 進級制作　テーマ決定
		2月	進級制作
		3月	進級制作

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25%　課題25%　授業態度25%　実技25%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	1

コース名	レザーワーク	単　位	12
科目名	彫金	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	増田　周一	(必修)　選択	

授業の到達目標及びテーマ	道具の使い方、ロー付けや磨きなどの基礎を学ぶ
授業の概要	地金を使った装身具の制作 金属工房「飾」の代表を務め、金属作家として精力的に作品づくりをすると共に、仙台・杜の都のクラフトフェア実行委員として活動している。

授業計画			
	前期	4月	道具作り
		5月	甲丸リングの制作
		6月	平打ちリングの制作
		7月	真鍮版のすり抜き
		8月	
		9月	
		10月	板枠のパーツ制作
	後期	11月	丁番や留め具のパーツ制作
		12月	箱物制作
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%　課題30%　実技20%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	1

コース名	レザーワーク	単　位	8
科目名	ワックスワーク	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	増田　周一	(必修)　選択	

授業の到達目標及びテーマ	道具の使い方から制作までの基礎を学ぶ
授業の概要	WAX素材から造る装身具の制作 金属工房「飾」の代表を務め、金属作家として精力的に作品づくりをすると共に、仙台・杜の都のクラフトフェア実行委員として活動している。

授業計画			
	前期	4月	道具作り
		5月	月型甲丸リングの制作
		6月	ペンダントの制作
		7月	リングの制作
		8月	
		9月	
	後期	10月	中空立体ペンダントの制作
		11月	
		12月	モチーフリングの制作(動物)
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%　課題30%　実技20%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	1
コース名	レザーワーク	単　位	2
科目名	クラフトデザイン	授業期間	前期　(後期)　通年
担当教員名	増田　周一	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	正確な立体物の図面やデザイン画を描く
授業の概要	制作物に対するデザイン画を描く 金属工房「飾」の代表を務め、金属作家として精力的に作品づくりをすると共に、仙台・杜の都のクラフトフェア実行委員として活動している。

授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
		10月	宝石のデザイン画
	後期	11月	指輪のトレース ↓
		12月	↓
		1月	3面図
		2月	オリジナルアクセサリーのデザイン画 ↓
		3月	↓

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%　課題30%　実技20%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	1

コース名	レザーワーク	単　位	8
科目名	レザーワーク	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	黒澤　亮一	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	革製品の基本手縫い技法 自分デザインのバッグを作れる様になる
授業の概要	手縫いの基本を学び、平物から立体物まで作れる様になる 1969inc.代表として革製品の修理、注文制作を行う傍ら、この授業を担当する。 仙台を代表するレザー作家。

授業計画			
	前期	4月	基本技法 カードケース
		5月	基本技法 コインケース、キーホルダー、平財布
		6月	立体 ウエストバッグ
		7月	立体 ウエストバッグ　レースタイプ
		8月	立体 内縫いタイプ①
		9月	立体 内縫いタイプ②
		10月	バッグの縫い方
	後期	11月	オリジナルバッグの制作
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題100％

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	1

コース名	レザーワーク	単　位	8
科目名	マテリアルワーク	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	竹田　敦子	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	レザー素材＋アルファ　ミシン仕立てのファッション商品を研究・制作する。 素材の知識　ミシンの種類と扱い方　美しい仕立てなどを知る　学ぶ トータルコーディネート　またはデザインバリエーションの考え方を養う
授業の概要	基本的素材の種類・特徴が理解できる。　取扱いや手入れが正しくできる。 効果的な素材同士の組み合わせができ、オリジナルの表現に幅が 広がることを目的とする。 素材の持つファッション性を判断できるセンスを養う。

授業計画	前期	4月	マテリアルとは何か　　基本的素材について　　天然・化学の違い
		5月	ミシン体験　練習布使用 ミシン課題①エプロン　　レザー＋デニム　完成後・授業で使用
		6月	条件：型紙の作り方　裁断の注意点　ミシンの扱い方 ミシン課題②トートバッグ　　レザー＋デニム　完成後・授業で使用
		7月	条件：ファスナー付き　ポケット付き　持ち手付き 完成　　展示目標
		8月	
		9月	制作物まとめ　プレゼン　評価
	後期	10月	課題③　帽子　　条件：２種類以上の素材ミックス すべて曲線で成り立つパターン（型紙つくり）から制作まで
		11月	課題④　カット＆ソー（ロンＴ）　条件：特殊ミシン使用　伸びる素材を扱う 特別な仕立て方にて制作
		12月	制作物まとめ　プレゼン
		1月	進級制作（ゼミナールと連動した指導とする）
		2月	〃
		3月	制作物まとめ　プレゼン　評価

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30%　授業態度20%　課題30%　プレゼンテーション20%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	1
コース名	レザーワーク	単　位	8
科目名	メイキングレザー	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	竹田　敦子	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	身近にあるレザーグッズの研究から制作まで（パターン　制作プラン 実物制作）を繰り返すことで　オリジナルを作れるようになる
授業の概要	・立体と平面の関係を知る ・部分テクニック　かがり　染色　ﾐｼﾝ作業などの応用 ・ファッションイメージの分析とターゲットへの提案 ・「売れる」ものづくりを目指す

授業計画	前期	4月	用具配布と使い方　特別教室の注意点
		5月	目打ち　ロウビキ　こば磨き　ロープ　などの基本を体験後 ２・３年生のフリーマーケットへ　手伝い参加をしながら実体験
		6月	使い勝手の良い道具入れ　オリジナル　　デザイン・パターン 〃　　実物制作
		7月	〃　　実物制作
		8月	
		9月	〃　　実物完成　まとめ　プレゼン
	後期	10月	メッシュ練習　　（平織　綾織　変化織の応用） メッシュデザインを用いたレザーグッズ　デザイン・パターン
		11月	〃　　裁断　制作
		12月	マーブル染め練習
		1月	マーブル染めを用いたレザーグッズ　デザイン・パターン 〃　　裁断　制作
		2月	進級制作企画に乗じてすすめる 年間制作物のまとめ　プレゼン　評価
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30%　授業態度20%　課題30%　プレゼンテーション20%

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	1

コース名	レザーワーク	単　位	4
科目名	ファッションコーディネーション	授業期間	(前期)　後期　通年
担当教員名	菅野　敦子	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	ファッションに必要なコンセプトメーキングツールとしての 要素の基礎を学ぶ
授業の概要	多種多様な雑誌を利用し、マップ作りの基礎、 プレゼンテーションの基礎を学ぶ 銀座三愛(元㈱Ai)にて商品企画、マーチャンダイザーを担当。以後当校にて教員を務め、現在校長として各授業を担当する。

授業計画	前期	4月	ファッション学に関するオリエンテーション 「自分にとってのファッション観とは？」
		5月	ファッションを文化と捉え、ファッションを構成する４大テーマを 映像学習し、レポートを作成する
		6月	・人はなぜ装うのか？　・世界のファッションデザイナー ・素材　・色彩
		7月	オケージョンスタイリング(TPOの概念から対応する ベストコーディネートの提案、マップ作り)
		8月	ライフスタイリング→クラスター分析 ・衣食住＋遊休知美というカテゴリーの把握から客層分類へ発展
		9月	ライフスタイリングのマップ作り プレゼンテーション
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題50%　出席率50%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	1
コース名	レザーワーク	単　位	4
科目名	デザイン画	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	菅野　一磨	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	考案したイメージをデザインに起こし、デザイン画として表現する
授業の概要	デザイン画の基礎から、専攻に沿ったデザイン画を描けるようにする 発想力に富んだデザイン、オリジナリティを追求する ㈱カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを企画、制作していた講師が、売れる店舗のVMD作りを教授する. 在学中にデザイン画について専門的に学び、個人事業としてイラストデザインを提供していた経験も持つ。

授業計画			
	前期	4月	授業予定や目標
		5月	ヌードプロポーション
		6月	バッグ、シューズ、小物の基礎
		7月	バッグ、シューズの応用
		8月	顔の部分練習
		9月	顔の応用
		10月	帽子デザイン画
	後期	11月	マテリアルの描き方
		12月	マテリアルを活かしたデザイン画
		1月	写真模写
		2月	写真模写
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%　課題50%

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	1
コース名	レザーワーク	単　位	4
科目名	造形デザイン	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	西條　綾子	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	限られた条件の中でアイディアを膨らませ形にする制作を通じ、自分の個性を伸ばし伝えたいイメージを的確に表現できるようにする。 また物を正しく見るトレーニングで右脳を活性化し、集中して楽に正しく描けるようになる。自分の中の可能性を実感し、自信を持つ。
授業の概要	平面における色と形による基本的な表現の基礎を学び実践する。 色の再現を通じて各自が使う色域の範囲を広げる。 対象物を様々な見方で描く実習を行い、見方と描き方の変化を検証する。

授業計画	前期	4月	パターンデザイン	物を見るトレーニング・トレーニングの説明 トレーニング前の記録・自分の顔
		5月	パターンデザイン	物を見るトレーニング・逆に描く すばやく見る
		6月	パターンデザイン 屋外デッサン	ゆっくり見る
		7月	色の模写	対象物と背景の捉え方 光と影の描き方①
		8月	色の模写	光と影の描き方②
		9月	ミクスドメディア コラージュ	記号化の理解とそこから逃れる方法 自分の顔・トレーニング成果の検証
		10月	ミクスドメディア・コラージュ	
	後期	11月	ヴィジュアルブック	
		12月	ヴィジュアルブック	
		1月	デッサン	
		2月	授業のまとめ	
		3月		

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況４０％　課題完成度４０％　授業態度２０％

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	1

コース名	レザーワーク	単　位	4
科目名	色彩学	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	相田　志	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	色相環とトーン表を理解することで色が出来る仕組み＝混色を学ぶ 色彩調和論の基本から色から伝わるイメージを理解する 色彩検定3級合格を必達し、自主的に2級を取得する力を付ける
授業の概要	色彩の基本を理解し、配色の基本、カラーが伝えるイメージを理解する。 アパレルにおけるカラーの重要性をを理解し、色によって感じ方の違いを学ぶ。 ㈱オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。

授業計画			
	前期	4月	2019SS、AWコレクションよりトレンドカラーを知る。
		5月	PCCSの色相環とトーン表を理解する 絵具を使って混色を実践。色はどうやってできるのか？
		6月	色相環とトーン表より色の特性を学ぶ 色の持つイメージを理解する
		7月	光と色　色はなぜ見えるのかという科学的な根拠を学ぶ 目の構造と、「光、物体、視覚」の関係
		8月	色の三属性 色の視覚的効果
		9月	色の視覚的効果と知覚的効果 色相、トーンからの配色
		10月	ファッション、インテリアにおける色彩 3級検定対策問題
	後期	11月	3級検定対策問題 試験後は2級基礎～マンセル表色系
		12月	JISの色名と系統色名 ナチュラルハーモニーとコンプレックスハーモニー
		1月	自然から学ぶ色彩 配色技法応用
		2月	光の性質と色 照明の知識
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単　位	12
科目名	オープン実習	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	各学科担当者、講師	(必修)　選択	

授業の到達目標及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習 ㈱アングローバル　プレス、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、㈱ユニクロ、㈱三越伊勢丹ホールディングス　人事部、㈱AZOTH代表、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Mannuscritデザイナー、

授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年)　校内企業説明会　コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座（毛皮）(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年)　卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ＆クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座（２・３年）
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況　９０％　　課題(レポート等) 提出状況　１０％

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	2

コース名	レザーワーク	単　位	16
科目名	ACゼミナール	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	菅野　敦子	(必修)　選択	

授業の到達目標及びテーマ	ファッションビジネスまたはアート出店への実学
授業の概要	フリーマーケット出展企画を通して、出店の仕組みを学ぶ 銀座三愛(現㈱Ai)にて雑貨の商品企画、マーチャンダイザーを担当。以後当校にて教員を務め、現在校長として各授業を担当する。

授業計画			
	前期	4月	フリーマーケット実習
		5月	オリジナルTシャツ制作 委託商品の募集
		6月	企画から制作、仕入れ、管理、販売の流れを学ぶ
		7月	私の世界観(夏季課題)
		8月	リアルマーケティングリサーチ
		9月	卒業制作の企画概要
		10月	卒業制作
	後期	11月	
		12月	
		1月	ファッションイベントに向け、作品のブラッシュアップ
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25%　課題25%　授業態度25%　実技25%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単　位	16
科目名	彫金	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	増田　周一	必修　(選択)	

授業の到達目標 及びテーマ	基礎から応用へ、石留や、可動物などの制作
授業の概要	地金を使った装身具の制作 金属工房「飾」の代表を務め、金属作家として精力的に作品づくりをすると共に、仙台・杜の都のクラフトフェア実行委員として活動している。

授業計画	前期	4月	ツメ留め(石留)
		5月	フクリン留め(石留)
		6月	バネ構造の制作
		7月	オリジナルアクセサリーの制作
		8月	
		9月	卒業制作
		10月	
	後期	11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%　課題30%　実技20%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単　位	8
科目名	ワックスワーク	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	増田　周一	必修　(選択)	

授業の到達目標及びテーマ	基礎からの王湯、量産作品の制作
授業の概要	WAX素材から造る装身具の制作 金属工房「飾」の代表を務め、金属作家として精力的に作品づくりをすると共に、仙台・杜の都のクラフトフェア実行委員として活動している。

授業計画	前期	4月	ブレスレットの制作
		5月	
		6月	モチーフリングの制作
		7月	
		8月	オリジナルアクセサリーの制作
		9月	
	後期	10月	卒業制作
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%　課題30%　実技20%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単　位	4
科目名	クラフトデザイン	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	増田　周一	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	正確な立体物のデザイン画を描く
授業の概要	制作物に対するデザイン画を描く 金属工房「飾」の代表を務め、金属作家として精力的に作品づくりをすると共に、仙台・杜の都のクラフトフェア実行委員として活動している。

授業計画	前期	4月	オリジナルアクセサリーデザイン画
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作用のデザイン画
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%　課題30%　実技20%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	2

コース名	レザーワーク	単　位	8
科目名	レザーワーク	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	黒澤　亮一	(必修)　選択	

授業の到達目標及びテーマ	手袋、サンダル、服など身につける革物の制作
授業の概要	デザインも大事だが、着やすい、使いやすいものを作れるようになる 1969inc.代表として革製品の修理、注文制作を行う傍ら、この授業を担当する。仙台を代表するレザー作家。

授業計画			
	前期	4月	サンダル カービングorスタッズ
		5月	サンダル カービングorスタッズ
		6月	手袋
		7月	手袋
		8月	ジャンパーorコート
		9月	
		10月	
	後期	11月	オリジナル
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題100％

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単　位	8
科目名	マテリアルワーク	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	竹田　敦子	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	レザー素材＋アルファ　ミシン仕立てのファッション商品を研究・制作する。 ファッションイメージと素材表現の研究 ファッション性のあるオシャレアイテムを研究・制作・提案する
授業の概要	８大ファッションの確認とその中からセレクトしたマップつくり ファッションイメージに沿ったデザインができるようなトレーニングを意識する ファッショングッズ提案　　イメージマップ・デザイン・素材手配・パターン 実物制作・撮影　　まとめ

授業計画	前期	4月	イメージ表現（素材）のリサーチ
		5月	マップ制作　デザイン提出 制作物決定（２点以上）
		6月	実物制作 ＊後期までに自分の得意分野（方向性と技法）を探ることも兼ねる
		7月	〃
		8月	〃
		9月	制作物撮影　カタログまとめ　　（トータルコーディネート提案） プレゼン　評価
		10月	卒業制作 ゼミナールのスケジュールに準ずる
	後期	11月	個人指導　（取り組みたい素材や技法について研究してゆく） 〃
		12月	〃　審査
		1月	ファッションイベントにて　最終的な表現を完成させる
		2月	〃
		3月	評価

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30%　授業態度20%　課題30%　プレゼンテーション20%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	2

学年・科名	レザーワーク	単　位	8
科目名	メイキング	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	竹田　敦子	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	専攻に応じて　今年度の各自テーマに沿ったモノづくり指導（個人指導） 自己満足だけではなく　売れるものであることも意識する （就職活動にてアピールできるレベルが目標）
授業の概要	フリーマーケット　ゼミナール　卒業制作にむかって　発想を実物にできる力を 養うと共に、ファッション業界の中においての位置づけ（方向性など）を 見極めることができるように指導する

授業計画	前期	4月	フリーマーケット　ゼミナール　マテリアル（別科目）においての課題計画
		5月	〃
		6月	〃
		7月	〃
		8月	
		9月	〃　　評価
	後期	10月	卒業制作における　制作物プラン　（コンセプト・企画優先）
		11月	卒業制作　制作物に取り組む
		12月	〃
		1月	ファッションイベントに向けた　総仕上げ
		2月	年間評価
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30%　授業態度20%　課題30%　プレゼンテーション20%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単　位	4
科目名	デザイン画	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	菅野　一磨	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	考案したイメージをデザインに起こし、デザイン画として表現する
授業の概要	デザイン画の基礎から、専攻に沿ったデザイン画を描けるようにする 発想力に富んだデザイン、オリジナリティを追求する ㈱カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを企画、制作していた講師が、売れる店舗のVMD作りを教授する。

授業計画	前期	4月	ウェアのアイテム画
		5月	ウェアのアイテム画
		6月	デザインコンペへの参加
		7月	デザインコンペへの参加
		8月	トータルコーディネート
		9月	トータルコーディネート　アイテム画作成
		10月	卒業制作へ向けての考案
	後期	11月	卒業制作デザイン画
		12月	卒業制作
		1月	卒業制作
		2月	修了課題
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%　課題50%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単　位	4
科目名	ACワーク	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	國行　一磨	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	他授業で与えられる作品の制作課題を完成させる。又は外部講師の作業現場や展覧会を見学し、作品制作におけるイマジネーションを養う。
授業の概要	・作品制作・課外授業 ㈱カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを企画、制作していた講師が、売れる店舗のVMD作りを教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。

授業計画			
	前期	4月	作品制作 課外授業
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
		10月	卒業制作準備
	後期	11月	卒業制作準備
		12月	卒業制作準備 ファッションイベント準備
		1月	卒業制作準備 ファッションイベント準備
		2月	卒業制作準備 ファッションイベント準備
		3月	▼

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20 %　課題40%　授業態度40%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単　位	24
科目名	ACワーク	授業期間	前期　後期　(通年)
担当教員名	國行　一磨	必修	(選択)

授業の到達目標 及びテーマ	他授業で与えられる作品の制作課題を完成させる。又は外部講師の作業現場や展覧会を見学し、作品制作におけるイメージネーションを養う。
授業の概要	・作品制作・課外授業 ㈱カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを企画、制作していた講師が、売れる店舗のVMD作りを教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。

授業計画			
	前期	4月	作品制作 課外授業
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
		10月	卒業制作準備
	後期	11月	卒業制作準備
		12月	卒業制作準備 ファッションイベント準備
		1月	卒業制作準備 ファッションイベント準備
		2月	卒業制作準備 ファッションイベント準備
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20 %　課題40%　授業態度40%

教 育 課 程

学科名	アーツ＆クラフト	履修年次	2
コース名	レザーワーク	単　位	4
科目名	卒業制作	授業期間	前期　(後期)　通年
担当教員名	菅野　敦子	(必修)　選択	

授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作を悔いのないものにし、学生生活の集大成とする。学内テーマと個人テーマを追求し、メッセージ性の強い作品を作りあげる。
授業の概要	卒業制作作品のテーマ設定、作品制作、企画書・資料集の作成、プレゼンテーション準備 銀座三愛(現㈱Ai)にて雑貨の商品企画、マーチャンダイザーを担当。以後当校にて教員を務め、現在校長として各授業を担当する。

授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
		10月	卒業制作準備
	後期	11月	卒業制作準備
		12月	卒業制作準備 評価１
		1月	ファッションイベント準備 評価1を受けて修正
		2月	ファッションイベント準備 発表
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20 %　課題40%　授業態度40%